

別紙 11 「出港日時報告 (A T D) 業務 入力項目表」

項番 ^(※1)	項目名	区分 ^(※2)	業務コード ^(※3)	内 容						
2	処理区分コード	M		次の区分に応じたコードを入力する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>出港日時の訂正</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	コード	登録	9	出港日時の訂正	5
区 分	コード									
登録	9									
出港日時の訂正	5									
3	S Pコード	C		入力不要 ※サービスプロバイダー業務を行う者が、サービスプロバイダーコード及びパスワードをNACC Sに向けて送信する。						
4	船舶コード	M	信号符字 (コールサイン)	(1) 船舶の信号符字 (コールサイン) を入力する。 (2) 左詰めで入力する。						
5	航海番号	M		航海番号を入力する。						
6	船会社コード	M		本船利用船会社単位にNACC S用船会社コード(※)を入力する。 ※船会社に対してNACC Sセンターが払い出すコード						
7	船積港コード	M	港コード (業務コード集の国連LOCODE (国名コードを含む) を参照)	(1) コンテナ貨物を日本に入港しようとする外国貿易船に船積みする港について、港コード (国連LOCODE 5桁) を入力する。 (2) 該当する港コード (国連LOCODE 5桁) がNACC Sに登録されていない場合は、国名コード (2桁) の後に「ZZZ」を付したコードを入力する。						
8	船積港枝番	C		(1) 同一航海において同一の港に複数回寄港する場合は、枝番を入力する。 (2) 同一航海において同一の港へ2回目に寄港する場合は、「1」を入力し、3回目に寄港する場合は、「2」を入力する。以降、順次「9」まで入力することができる。 なお、寄港回数に対応する枝番と異なる枝番を入力することがないように留意すること。						
9	出港年月日	M		船積港の出港年月日を現地時間又はグリニッジ標準時により、西暦 (8桁) で入力する。						
10	出港時分	M		船積港の出港時間を現地時間又はグリニッジ標準時により、時分 (4桁) で入力する。						
11	グリニッジ標準時差分	M		(1) 「項番9」の出港年月日及び「項番10」の出港時分を現地時間で入力した場合は、現地時間とグリニッジ標準時との差分を正表示「+」又は負表示「-」を付して、時分 (4桁) で入力する。 (2) 船積港が「THBKK」で、出港時分が現地時間20時2分 (グリニッジ標準時13時2分) の場合の入力例は以下の通り。						

項番 ^(※1)	項目名	区分 ^(※2)	業務コード ^(※3)	内 容
				① グリニッジ標準時で報告する場合 「項番 10」出港時分欄には「1302」と入力する。 「項番 11」グリニッジ標準時差分欄には「00000」と入力する。 ② 現地時間で報告する場合 「項番 10」出港時分欄には「2002」と入力する。 「項番 11」グリニッジ標準時差分欄には「+0700」と入力する。
12	緩和措置対象地域識別	C		法令に基づき緩和措置が適用される近海航路(※)の場合は、「Y」を入力する。 ※ 本文3-(3)-B及び別紙2を参照。

(※1) 各業務に対応した業務仕様書(入力項目)の項番を表示している。

なお、業務仕様書は、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>)に掲載している。

(※2) 「区分」の見方は以下のとおり。

① 「区分」の内容

区分	内容
M	必須項目
C	条件付項目
F	補完後必須項目
X	入力不可
-	入力無視

② 「区分」レベル

(例)

項目名	区分	
項目A	C	
項目B		M

下位レベルの項目は上位レベルの項目の区分に従属する。

※項目Aは条件付項目であり、入力する場合としない場合がある。

項目Bは項目Aの下位レベルにある必須項目のため、項目Aの入力がある場合、項目Bは必須入力となる。

(※3) 業務コード集については、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>)に掲載している。